

◆◆◆ 気象科学館がリニューアルオープンしました

気象庁のなかにある「気象科学館」へは、これまで多くの方が訪れ、気象知識の普及や気象災害の軽減や防止に対する意識の向上に大きな役割を果たしてきました。このたび、その「気象科学館」がリニューアルし、平成22年5月6日にオープンしました。

リニューアルした「気象科学館」は、一言でいうと、臨場感のある科学館に変身しました。これまでの展示品や体験コーナーに加えて、「緊急地震速報トライアル」、「ひょっとして大雨キューブ」、「防災ポイントウォッチャー」、「知っている？天気予報が届くまで」など参加型の体験コーナーが設置され、よりわかりやすく、かつ臨場感あるものとなりました。

この中から次のものをご紹介します。ぜひ、ご来館いただき、ご体験なさってみてはいかがでしょうか。

① 緊急地震速報トライアル

写真に示すように、大型ディスプレイの他、関東地方の立体地図が目の前に広がっています。体験者は、車を運転中、事務所で仕事中、家でテレビを鑑賞中、学校で授業中などのそれぞれのシチュエーションの椅子があり、ここに着席し、シミュレータースタートをすると、ある地点で地震が発生し、その地震のP波とS波が伝わる様子が立体地図上に映し出されます。体験者が座っている場所にS波が到来すると、椅子が振動し、地震の揺れを感じます。このように、緊急地震速報の仕組みと、緊急地震速報を見聞きしたときの対応を学ぶことができます。



「緊急地震速報トライアル」のコーナー（写真提供 気象庁）

② ひょっとして大雨キューブ

大雨に対する防災を学ぶコーナーで、急激な雷雲の発達に伴う強い雨を体感でき、足下には、マンホールが映し出され、そこから溢れ出す水で思わず足をすくめなくなるような臨場感があります。また、急激の天気の変化を感じるよう唸りをあげて冷却用ファンから風が送られ、また、正面に設置された大型ディスプレイでは、暗雲と雨の様子が映し出され、まさに、雷雨の中に立たされている臨場感を体験できます。



「ひょっとして大雨キューブ」のコーナー（写真提供 気象庁）